

SDGsいしかわ・かなざわダイアログ総括シンポジウム
 地域の未来をSDGsでカタチにしようーLocalizing SDGsー
アンケート結果

2019年3月23日
 金沢市文化ホールにて

ー総参加者数ー

事前申込	91名
当日参加	37名
関係者	25名
合計	153名

アンケート回答率
 41% (53名/128名)

ーイベント告知効果ー (複数回答あり)

OUIKのHP	7名
OUIKのFace Book	10名
新聞	4名
その他HP	3名
イベントチラシ	5名
お知り合いより	27名



問1. 参加の動機

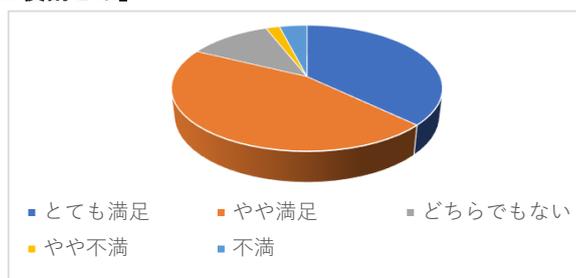
- ・SDGsへの理解を深めるため (他6名)
- ・SDGsに興味、関心があったから (他4名)
- ・実際にSDGsに取り組んでいる方の話を直に聞きたいと思ったから (他2名)
- ・Sustainabilityに興味があったから (他1名)
- ・石川/金沢でのSDGs推進に興味があったから (他1名)
- ・SDGsに興味があり、仕事で関わっているため (他1名)
- ・よりよい地域にしていくにはどうしたらよいか学びたい
 どのような人たちが集っているのか知りたかった
- ・学校でSDGsについての取り組みを行っているから
- ・パートナー団体の一員として/今後の金沢市のSDGsに関する動きを確認したかったため
- ・知り合いに招待されて
- ・OUIKの1年間の取り組みを踏まえて、今後のSDGsの取り組み方へのヒントを得るため
- ・金沢市内でのまちづくりや活性化に向けたヒントを得るため、金沢の方向性を聞きに来た
- ・JIA日本建築家協会でも31年度取り組みを始めようとしている
- ・地域でのSDGsの取り組みに少しずつでも関わっていければと考えている
- ・金沢市の職員であり本市の政策を把握するため
 現在地域活動をしており、地域創生、街中活性化のための知見を持ちたかったため
- ・自治体におけるSDGsの取り組みと関係者と市民の熱意を学び感じるため
- ・今期、環境省SDGsを含め多く参加しているため
- ・永井さんに誘われて
- ・自分への気付き、動機付け

- ・ユートピア的な目標を掲げているので、より詳しく知りたかった
- ・勉強のため
- ・高専生向けSDGs教育素材収集
- ・環境問題に関心があったため
- ・SDGsのプロジェクトに関心があったため
- ・会社でSDGsに取り組みたいと考えている / その中でよく知るために参加した
- ・SDGsの現在の取り組みや、今後の構想をお聞きしたく参加した
- ・今後SDGsによって街がどのように変わるか知りたくて
- ・新規ビジネス開発

問2. 満足度

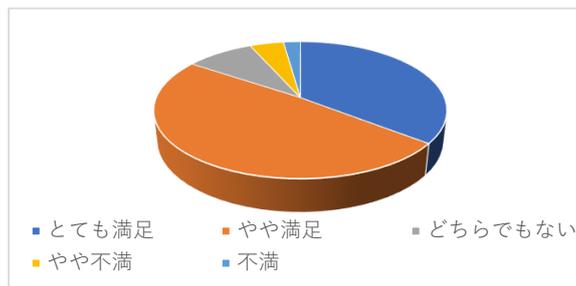
■セッション1「地域でのSDGs推進における自治体の役割とは」

とても満足	19名
やや満足	23名
どちらでもない	6名
やや不満	1名
不満	2名



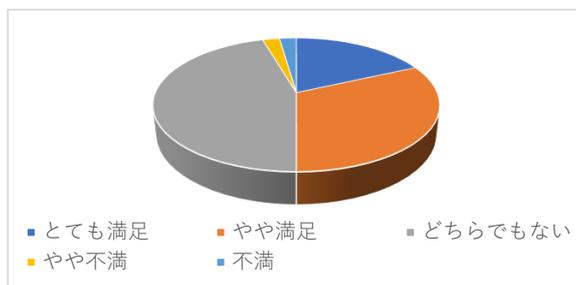
■セッション2「SDGsパートナーシップのデザインとは」

とても満足	16名
やや満足	22名
どちらでもない	4名
やや不満	2名
不満	1名



■会場での交流

とても満足	8名
やや満足	14名
どちらでもない	20名
やや不満	1名
不満	1名



問3. 全体の感想

- ・様々な立場の方のお話を聞くことができ、SDGsに関して視野を広げていくことができました。これからの学びに生かしていきたいです。
- ・特にセッション1において、実際に関わる行政の方の本音を知ることができたのが興味深かった。会場セットですが、今後コーヒートーク時にフェアトレードコーヒー等があれば良いなと思った。
- ・例えば、今現在金沢市のレベルがどのくらいにあるという評価がない。SDGs達成のために改善していくことは大切だが、現状認識ができていないと効果の把握ができないのではないかと危惧する。
- ・プログラムにグループワークも入れてほしい
- ・パネルセッションは、論点の整理を予めした上で、今後の方向性や課題について議論できると、より深まるのかと思います。
- ・様々な方の活動や知見が得られて嬉しい時間でした。ありがとうございます。

コーヒーとお菓子のサービスありがとうございます。フェアトレードコーヒーや福祉作業所さんのお菓子などが登場してきたらなおステキだなと思いました。

- ・17の目標の達成度評価の実態を示してほしい
- ・都合でセッション1までしか参加できませんでしたが、そこまでは非常に良かったです。
- ・各プレゼンターの持ち時間が短い。配布資料もざっと語るのではなく後で読むものとして、ポイントなどをもう少し詳しく説明して頂ければよかった。途中までしか聞いていませんので、その後説明ありましたらご容赦ください。
- ・もっと疑問がわいた。学びも多かった。継続的に学び自分自身も実行していきたいと思います。
- ・色々な話が聞けてよかった。特に様々なキーワード、実践している方の自身の言葉は納得感がありました。
- ・活動の発表が目的だから具体的にどうしていくのかということをもっと聞きたかった。
- ・SDGsがテーマなのに、パネリストは女性1名以外全員男性。机の上にはペットボトルと紙コップ
理念は立派だが、実際の自分たちの行動には無頓着。まずはそこから改善が必要なのでは。
- ・インダストリー4.0（第4次産業革命/IT・IoT・AI）、働き方改革全て、今の風を捉えてもらおうとおもしろいのでは。
- ・セッション1と2のつながりもあると良いと思いました。ただ、とても有意義でした。
- ・ファシリテーターのまわし方が上手いと思いました。OUIKの人の発話が素晴らしいと思います。
若い人を大事にする。今見ている景色を変える！
- ・セッション1でファシリテーターが言及していたが、プラゴミを減らす、使わない、適正なりサイクルを行うこと一つとっても「消費者市民」の行動を変えてもらわないといけない。消費者一人ひとりが理解してもらう効果的な啓発などに取り組むことを期待したい
- ・金沢市のNPO、市民目線の事例もきけると"パートナーシップ"感が出ると思いました。
- ・総合的なお話を聞くことができよかったです。IMAGINEプロジェクトについてもっと知りたかったです。
- ・SDGsのことが分かった
- ・様々な立場、活動、視点でお話をきけて非常に有意義でした。
- ・「地域と未来」がテーマでした。次回（or次々回）「地域から世界へ」というテーマを教えてください
- ・1.環境等の話題であれば、国際関係の話が重要な気がするのですが、
地域の話だけに終始している気がしました。（米国のスタンスや途上国問題）
2.環境について考えること、利便性のある程度我慢するしかないのではないか（自動車の利用等）
- ・ペットボトルが残念でした。
- ・SDGsの17の目標が、地域にどう落とし込まれているかが良く分かりました。勉強になりました。
- ・マイノリティを尊重することに矛盾する。一律規制の方向は全ての人には生きにくい時代に向かうと思う。
- ・もっと`連携`に焦点を当てて欲しかった。具体的な活動における事例やパートナーシップの効果、現状、課題、今後など。
- ・具体的な取り組みの例が少なかった
- ・分かりやすかったです。

問4. 今後も地域でSDGs17ゴールに向けての活動を推進するにあたり、 イベントにて取り上げて欲しいテーマは？

- ・地域内だけでなく、世界の協力も得ながらどのように地域を発展させいくのか？
- ・企業実務者（地方中小企業）による集中アイデアソンが面白いかも。ある地域課題、社会課題（SDGsのターゲットに該当するような）に対して、各企業が自社事業でどう貢献するか、といったような。
※集客にパワーを要する可と思いますが、非常に面白いかと思います。
- ・地域での具体的なテーマでワークショップの広報をして欲しい/インターリンクエージの具体例とメリット・デメリットを。
- ・コラボレーションでゴール達成につながる活動例を紹介していただける機会があると嬉しいです。
- ・市民生活の具体的な接点
- ・金融、経済により踏み込んだテーマもお聴きできれば幸いです。また、お声かけ、情報をいただければ幸いです。
- ・経済からのアプローチ（特に人口減少課題が大きい地域での・・・）

- ・ 16 平和と公正を全ての人にとは。戦いとは何かを知る、を学べるイベント
- ・ 個人レベルでのSDGs活動とは。
- ・ 企業のSDGsの取り組み
- ・ 8と9の経済的な側面から企業としての関わり方について取り上げて欲しい
- ・ とても専門的な名ことになる以上、17のリンクに方向が見えてくるのでは
- ・ 農業のある暮らしについて
- ・ SDGs for education of ethics
- ・ 流域コミュニティ、エコデモ
- ・ 民間企業の具体的事例を知りたい
- ・ パートナリシップをテーマにぜひ！ その場でパートナーを組む、お見合いのような。
- ・ 石川・金沢の強み
- ・ 企業としてのメリットがどこにあるのか？
- ・ 今日、若い人（高校生）の参加があり驚きましたが、期待できると思いました。次回は若い人がどう考えているか、どう考えて欲しいかをガチンコで意見交換してくれたらと思いました。
- ・ 子どもが参加できるSDGsイベント、取り組み
- ・ CO2が無くなった地球はどうなるか？ 青森県の核廃棄物の世界のパーセントについて。エコの名において「エントロピーの法則」から考えよう
- ・ 17のゴールの組み合わせについての議論に興味があります
- ・ 最初は興味があってイベントにも参加する人もいるが、SDGsが市民に浸透していくことによって反対に活動が見えなくなってくることが考えられる。見える化、プログラムの進歩を測るパラメータを提供することをやって欲しい
- ・ 民間の利益とSDGsの両立について